



ふくおか [Good] 農業人100
 主な農産物 / イチゴ、米

三浦 孝一さん (46歳) (営農地 / 久留米市安武町)

20年以上のサラリーマン生活を経て就農

《就農のきっかけ》

コンピューターからイチゴへ

自宅が農地の隣りということもあり、定植、ビニール張り、寒冷紗被覆等の人手がいる作業の手伝いはしていて、農業は大変だなと思いつながら、普段はコンピューター関係の仕事に従事していました。会社には22~23年間勤務していましたが、東京への転勤内示を期に妻と相談し、妻の実家のイチゴの栽培をやることになりました。

《これまでの過程》

教えてもらいながら成長

43歳での就農と遅いスタートとなりましたが、もともと、庭いじりや野菜作りが好きで行っていたので、そこまでの苦労は感じませんでした。と、三浦さん。また、義理の両親と一緒に作業を行っていたので、教えてもらいながら徐々に作業になれていきました。

作業にもなれ、管理もある程度できるようになりましたが、まだ、病害虫関係の知識が足りないと感じています。就農初年度はハウスの谷下に何でクモの巣が張っているのかなーと思っていたら、実はハダニが多発してクモの巣状になっていた等、今では笑い話のような経験をしてきました。

《これからの展望》

若手を中心に収量向上を

現在3連棟+単棟のハウスで育苗から栽培まで実施していますが、施設が古くなったので規模拡大を含めた建て替えを行い、4連棟のハウス+育苗ほ場にする予定としています。まだ、給料をもらっている状況であり、将来は経営者としてやっていかなければいけないので、頑張っ一人前と認められるよう努力していきたいです。また、現在集落営農組織*のオペレーターとしても作業しており、将来的には普通作の規模拡大も行っていきたいと思っています。現在、いちご部会青年部の部会長をしており、研修会や高収量者のほ場視察を行い、技術の習得を図り、若手を中心に収量向上を図っていきたくです。



プロフィール

- 家族構成 / 父、母(妻方)、本人、妻、子ども2人
- 前職 / コンピューター関連会社
- 営農年数 / 約3年
- 耕作(経営)面積 / 1.4ha
- 販路 / JA共販



*集落営農組織...集落単位で農家が各自の農地を持ち寄り、共同で農機具を所有したり、農作業を行ったりする組織。



Good 成功のためのポイント

義理の両親がいたので指示されながらやってきた。アドバイスしてもらえる人をうまく見つけて、教えてもらうことが必要だと思います。また、集落や農業での人間関係をうまくやることが重要になります。